

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス アラジン				公表日	2026年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・学習、遊びと部屋や時間を分け、集中できる環境を作っている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・児童の状況により職員の人数を配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・車椅子利用児のため、玄関にスロープを設置している ・視覚で情報が理解できるよう、イラスト入りの掲示にしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日の清掃と使用したおもちゃ等、アルコール消毒をしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・クールダウンや個別で話が必要な場合、別室を利用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・すべてを取り入れることは難しいが、職員で検討し、取り組めることから挑戦している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・定期的な面談を行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・受けていない(予算等検討中)	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・外部研修を周知し、参加している	・シフト上難しい場合もあるので改善策を模索中	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・事業所HPに公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・本人、保護者の思いを大切にしている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・全体ミーティングを行い、意見を出し合っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・ミーティングで共有している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・安全で楽しい体験ができるよう考慮し立案している	・一人ひとりが意見を出しやすいように、プロセスを細かくしていこうと思う	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・年間行事、地域での風習など取り入れている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎日、事前打ち合わせをし、確認をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・送迎や支援中の利用児童の普段と違った様子や気付きを報告している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・正しく記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・定期的なモニタリング（6か月に1回） ・必要があればその都度見直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・相談支援事業所を通じて連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・送迎時の対応等マニュアルを作成している ・その他、必要時に電話連絡をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・契約時に情報共有をお願いしている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5		・他事業所と一緒に体操教室に参加している ・子ども食堂の利用や地域で開催される子供向けのイベントへの参加	・参加グループでの活動になり、一緒に活動や交流とはならず、今後も検討を続ける
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・日程が合わず参加できていない	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・連絡帳やLINEなどで利用時の状況を伝えて ・場合によっては電話で連絡をしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・事業所のみでの開催は難しい為、市などで開催されている研修やイベントの情報を配布している	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・保護者からの相談は、状況に応じて面談を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5		・今年度は保護者参加の行事を行えなかったため、来年度開催を検討している	・兄弟で利用している児童が多く、“きょうだい”向けに絞ったイベント等は開催していないので、今後の方針を話し合いたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・SNSで定期的に活動の様子を発信している	・保護者アンケートを踏まえ、解決策を見つけない
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・施錠できる場所で保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・ジェスチャーや言葉の伝え方など、その児童の理解度に合わせて工夫して対応している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・まだ開催できていない	・今後も子どもたちへの配慮を第一優先にし、慎重に検討を重ねる
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・保護者も閲覧できるよう、事業所入口にファイリングしている ・定期的に訓練を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・定期的に訓練を行っている ・様々な災害発生を想定し、訓練内容に反映するよう心がけている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に確認をし、定期的に保護者へ変化等ないか確認をしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時、さらに通院時等に保護者へ確認をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、年間スケジュールに研修や訓練を組み込んでいる	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・安全計画を掲示している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハット事例があった場合、全員参加のミーティングを設け、再発防止に為、意見を出し合っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・事業所で作成しているマニュアルに沿って研修を行い、日程が合う時は外部研修へも参加している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・契約時に説明をしている ・必要に応じて再度説明をし、了承を得ている		